

## 平成27年度 就労継続支援A型事業所 おちゃらけ亭 事業報告(案)

### 1. 利用実績報告 (別紙 参照)

### 2. 事業内容報告

- ・ぱんの製造・販売を9月から実施した。 週300個生産販売。
- ・施設外就労(川湯の森病院・ばあば加工センター・他)1日1000円加算された。
- ・イベント販売(道の駅・農協・観光祭り等の各種行事参加)
- ・当事者支援に関する業務全般(更新手続きなど)

### 3. サービス体制報告

- ・管理者 1名(本部事務兼務) ・サービス管理責任者 1名(他事業所業務兼務)
- 生活支援員 1名 職業指導員 2名 計5名

### 4. 重点事業目標実施報告

作業内容が少ないため、厨房以外の作業を検討する。

- : 当初利用者が全作業を経験出来るようにしていたが、責任がとれない、連絡伝達ミスが多発など弊害が多く出たため、各担当を固定化し作業毎に検討させた。 その結果それぞれの作業行程の見直しをすることで細分化が行えたため改善していった。

お客ニーズの改善、メニュー更新改良を行う。

- : 季節によってメニューを変化させた(かき氷の導入、季節野菜を使った料理の開発)
- テイクアウト商品の開発強化検討 パン製造を発案し実施した。

利用者向けサービスの向上をはかる。

- : 利用者職員参加型全体ミーティング『おちゃらけミーティング』を毎月開催した。
- その中で、働くことの意義や趣旨、姿勢、安全対策など議論を深め周知理解が出来た。

地域との連携に努め、町内イベントへの参加していく。

- : 7月『観光まつりに出店』10月『商業まつりに出店』、町内会一斉清掃に参加した。

売上目標を定めて、達成に向けて推進していく。

- : 9月からの業態変更があり当初予定が大きく変わったこともあり目標設定に至らなかったが、収支構造を検証したところ、売価に対して仕入原価・副材原価が想定以上かかっていた。 1つ1つ行程の見直しを行い無駄やロスを少なくなるように改善させた。
- また、パン生地の仕入先を拡げ、取扱い製品の多様化により、仕入原価の改善を行う。
- それにともない取扱い品目の種類が増えたことでお客ニーズへの対応改善に繋がった。

(別紙1)

## 平成27年度 利用者の状況

事業所名 おちゃらけ亭

### 1 利用者実人数

(単位:人)

区 分	平成 27年									平成 28年			年度計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
就労継続支援A型	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	5	7
就労継続支援B型													

注1 指定就労継続支援を利用した者の実人数を区分ごとに記入すること。

注2 「年度計」欄は、指定就労継続支援を利用した者の実人数を記入すること。(各月ごとの実人数を合算するものではない。)

### 2 利用者延べ人数

(単位:人)

区 分	平成 27年									平成 28年			年度計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
定 員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
開所日数	21	18	22	23	20	19	23	19	22	17	20	22	246
就労継続支援A型	147	126	154	161	140	133	161	133	132	102	120	110	1619
就労継続支援B型													0

注1 指定就労継続支援を利用した者の延べ人数を区分ごとに記入すること。

注2 「年度計」欄は、各月ごとの延べ人数の合計を記入すること。